授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		指導担当者名	①佐々木　美代子　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター「衛生管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	自己紹介・科目の説明
	2	1篇　公衆衛生　1章　公衆衛生の概要 1節　公衆衛生の意義と課題	①公衆衛生とはなにか
	3	2節　公衆衛生発展の歴史	①欧米と我が国の公衆衛生の歩み　②消毒法の歴史
	4	3節　理容師・美容師と公衆衛生	①歴史の中の美容師と公衆衛生　②公衆衛生と美容師
	5	4節　保健所と理容業・美容業	①保健所と美容業の関係
	6	2章　保健　1節　保健	①母子保健　②成人・高齢者保健　③精神保健
	7	2編　環境衛生　1章　環境衛生 1節　環境衛生の概要	①環境衛生の内容　②目的と意義　③環境衛生活動
	8	2節　空気環境	①空気と環境　②温度・湿度・気流と健康
	9	3節　衣服・住居の衛生	①衣服の衛生　②住居の衛生
	10	4節　上下水道	①上水道　②下水道　③廃棄物
	11	5節　衛生害虫とネズミ	①衛生害虫　②ネズミ
	12	6節　環境保全	①水質汚濁
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	3編　感染症　1章　感染症の総論 1節　人と感染症	①感染症発見の歴史　②感染症と法律　③感染症の分類
	16	2節　病原微生物①	①微生物の種類　②微生物の形と大きさ
	17	2節　病原微生物②	①微生物の構造　②微生物の増殖と環境の影響
	18	3節　感染症の予防①	①微生物の病原性と人体の感受性 ②汚染、感染及び発病　③常在細菌叢
	19	3節　感染症の予防②	①免疫と予防接種　②感染症発生の要因　③感染症予防の3原則
	20	感染症の振り返り	まとめプリント

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		指導担当者名	①佐々木　美代子　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「衛生管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	2章　感染症の各論　1節　理容・美容と感染症	感染症の基礎知識の重要性
	2	2節　主な感染症①	空気・飛沫を介して感染する感染症
	3	2節　主な感染症②	飲食物を介して感染する感染症
	4	2節　主な感染症③	血液等を介して感染する感染症
	5	2節　主な感染症④	動物・節足動物を介して感染する感染症
	6	3節　具体的な対策の例①	①標準予防策　②咳のある客への対応
	7	3節　具体的な対策の例②	①病変の皮膚をもつ客への対応 ②嘔吐をした客への対応
	8	期末テスト対策　練習問題	プリント準備
	9	期末テスト対策　練習問題　回答・解説	期末テスト対策　練習問題の回答・解説
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	4編　衛生管理技術　1章　消毒法総論 1節　消毒とは	病原微生物と非病原微生物
	13	2節　消毒の意義	汚染、感染、発病と消毒の意義 ②殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義
	14	3節　理容・美容の業務と消毒との関係①	消毒に関連のある法の規定
	15	3節　理容・美容の業務と消毒との関係②	消毒を怠った場合の危険性と美容師の責任
	16	4節　消毒法と適用上の注意①	消毒法の種類
	17	4節　消毒法と適用上の注意②	消毒（殺菌）に必要な条件
	18	4節　消毒法と適用上の注意③	病原微生物の抵抗力
	19	4節　消毒法と適用上の注意④	消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		指導担当者名	①佐々木　美代子　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計40時間（2年間90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「衛生管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	2章　消毒法各論　1節　理学的消毒法（殺菌法）①	紫外線消毒
	2	2章　消毒法各論　1節　理学的消毒法（殺菌法）②	煮沸消毒
	3	2章　消毒法各論　1節　理学的消毒法（殺菌法）③	蒸気（大気圧下の蒸気）消毒
	4	2章　消毒法各論　1節　理学的消毒法（殺菌法）④	その他の理学的消毒法
	5	2節　化学的消毒法①	アルコール類による消毒
	6	2節　化学的消毒法②	次亜塩素酸ナトリウム（塩素剤）による消毒
	7	2節　化学的消毒法③	界面活性剤（逆性石けん、両性界面活性剤）による消毒
	8	2節　化学的消毒法④	グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒
	9	2節　化学的消毒法⑤	その他の消毒薬
	10	3節　すぐれた消毒法とその実施上の注意	①すぐれた消毒法の条件　②注意事項
	11	期末テスト対策　練習問題	プリント準備
	12	期末テスト対策　練習問題　回答・解説	期末テスト対策　練習問題の回答・解説
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	3章　消毒法実習　1節　各種消毒薬①	消毒薬の概要
	16	3章　消毒法実習　1節　各種消毒薬②	器具の使い方
	17	3章　消毒法実習　1節　各種消毒薬③	常備しておくとよい消毒薬と希釈液の濃度
	18	3章　消毒法実習　1節　各種消毒薬④	消毒薬希釈法
	19	消毒法のまとめ	プリント準備
	20	2節　理容所・美容所の消毒の実際①	理容所・美容所における消毒の原則

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		指導担当者名	①佐々木　美代子　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計40時間（2年間90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な環境衛生・衛生管理技術の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「衛生管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	2節　理容所・美容所の消毒の実際②	理容所・美容所の消毒設備
	2	2節　理容所・美容所の消毒の実際③	理容・美容器具類の消毒法
	3	2節　理容所・美容所の消毒の実際④	理容師・美容師の手指の消毒
	4	2節　理容所・美容所の消毒の実際⑤	その他のものの消毒
	5	2節　理容所・美容所の消毒の実際⑥	理容所・美容所の消毒の現状
	6	3節　理容所・美容所の清潔法の実際①	①清潔保持と清掃　②洗剤による清浄法 ③洗い場の構造と清潔保持
	7	3節　理容所・美容所の清潔法の実際②	①清掃　②毛の処理・汚物箱などの消毒 ③ハエや力などの駆除
	8	5編　衛生管理の実践例　1章　美容所における衛生管理要領①	衛生的取扱い等
	9	期末テスト対策　練習問題	プリント準備
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	5編　衛生管理の実践例　1章　美容所における衛生管理要領②	自主的管理体制
	13	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	14	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	15	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	保健		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「保健」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	自己紹介・科目の説明
	2	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学　①人体各部の名称　②頭部、顔部、頸部の体表解剖学	人体各部の名称・頭部・顔部・頸部について等
	3	第2章　骨角器系 ①骨の種類と構造　②骨の連結	骨の各名称・骨の連結の種類等
	4	③骨角器系とそのはたらき	頭蓋・脊柱・上肢骨・下肢骨・胸郭等
	5	第3章　筋系　①筋の種類とその特徴 ②主な骨格筋とそのはたらき	筋の種類・全身の骨格筋の名称等
	6	③表情筋と表情運動 ④理容・美容の作業と筋疲労	表情筋の種類・筋疲労について等
	7	第4章　神経系　①神経系のなりたち ②中枢神経系とそのはたらき	中枢神経系と末梢神経系とは ・中枢神経系のはたらき
	8	③末梢神経とそのはたらき	末梢神経系のはたらき ・交感神経と副交感神経の効果
	9	第5章　感覚器系　①視覚　②聴覚	視覚の仕組み・聴覚の仕組み
	10	③平衡感覚　④味覚	平衡感覚・味覚の仕組み
	11	⑤嗅覚　⑥皮膚感覚	嗅覚・皮膚感覚の仕組み
	12	期末テスト対策	テキスト、対策プリント使用　期末テストに向けた復習
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	第6章　血液・循環器系　①血液のあらまし	血球成分の種類（赤血球・白血球・血小板）等
	16	②血液循環の仕組み	心臓・血管の各名称等
	17	③血液の循環経路	大循環、小循環・門脈循環の経路等
	18	④心臓と血管のはたらき	血圧・最高血圧・最低血圧脈拍について等
	19	⑤リンパ管系の仕組みとはたらき	リンパ管・リンパ節・リンパ球について等
	20	第1章～第3章までの復習	対策プリント使用

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	保健	指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年	実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：　実技：		
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計90時間）	週時間数	2時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「保健」		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	第7章　呼吸器系　①呼吸器系のあらまし	ガス交換・呼吸器系の各名称等
	2	②気道	気道・鼻腔・喉頭・気管と気管支について等
	3	③肺の仕組みとガス交換	肺胞、肺の仕組みについて等
	4	④呼吸運動	肋間筋・横隔膜・肺活量について
	5	第8章　消化器系　①消化器系のあらまし	消化管・消化腺・消化器・消化酵素について等
	6	②消化管の仕組み	口腔、唾液腺、食道、胃、腸の各名称
	7	③消化管のはたらき	咀嚼、嚥下、胃腸の運動について
	8	④消化と物質代謝	グリコーゲン、消化酵素の種類等
	9	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	10	期末テスト対策	テキスト、対策プリント使用　期末テストに向けた復習
	11	期末テスト	
	12	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	13	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	14	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	15	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	「人体の構造及び機能の復習」 国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	保健		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計40時間（2年間90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「保健」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	第1章　皮膚の構造 ①皮膚の表面、②皮膚の断面	表皮・真皮・皮下組織等
	2	③表皮、④表皮と真皮の堺	角化細胞・色素細胞・ランゲルハンス細胞等
	3	⑤真皮、⑥皮下組織、⑦皮膚の部位差	膠原繊維・弾性繊維・皮下脂肪等
	4	第2章　皮膚付属器官の構造 ①毛、②脂腺（皮脂腺）	毛の構造・成長周期・脂腺等
	5	③汗腺、④爪	エクリン腺・アポクリン腺・爪の構造等
	6	第3章　皮膚の循環器系と神経系 ①皮膚の血管、②皮膚のリンパ管	皮膚の血管・リンパ管等
	7	③皮膚の神経	痛覚・温覚・冷覚・触覚等
	8	第4章　皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ①対外保護作用、②体温調節機能	機械的外力・光線・化学的刺激 ・細菌・微生物に対する保護作用等
	9	③知覚作用と皮膚反射　④分泌排泄作用	皮膚知覚作用・皮脂の分泌・生理作用等
	10	⑤呼吸作用　⑥吸収作用	経皮吸収・表皮吸収・皮膚付属器官経路等
	11	⑦貯蔵作用　⑧免疫・解毒・排除作用	角化細胞・マクロファージ・ワクチン接種等
	12	⑨再生作用　⑩毛のはたらき ⑪爪のはたらき	表皮の再生・皮膚の再生等
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	第5章　皮膚と皮膚付属器官の保健 ①皮膚と全身状態　②皮膚と精神	貧血、チアノーゼ、黄疸等
	16	③皮膚と栄養　④皮膚とし好品	ストレス・ホルモン分泌・多汗症等
	17	⑤皮膚と体内病変 ⑥皮膚の水分と脂の状態	肝臓障害・腎臓炎 ・胃腸障害・便秘・糖尿病等
	18	⑦皮膚・付属器官とホルモン ⑧皮膚の保護と手入れ	男性ホルモン・女性ホルモン・ふけ症の手入れ等
	19	⑨毛の保護と手入れ　⑩爪の保護と手入れ ⑪子どものおしゃれによる皮膚トラブル	毛の衛生・傷んだ毛のそのケア
	20	第6章　皮膚と皮膚付属器官の疾患 ①皮膚の異常とその種類　②皮膚疾患の原因	原発疹・続発疹等

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	保健		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計40時間（2年間90時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な人体・皮膚の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「保健」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	③皮膚疾患の治療法 ④皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	外科的療法・理学的療法
	2	⑤口唇の疾患　⑥温熱・寒冷による皮膚障害	熱傷・凍傷・凍瘡等
	3	⑦角化異常による皮膚疾患 ⑧色素異常による皮膚疾患	タコ・ウオノメ・シミ・ソバカス等
	4	⑨血管腫（アカアザ）　⑩脂腺母斑	血管腫・脂腺母斑等
	5	⑪下肢静脈瘤　⑫分泌異常による皮膚疾患	下肢静脈瘤・ニキビ・ワキガ等
	6	⑬化膿欣による皮膚疾患 ⑭ウィルスによる皮膚疾患	トビヒ・毛包炎・ヘルペス等
	7	⑮真菌による皮膚疾患 ⑯衛生害虫による皮膚疾患	白癬菌・衛生害虫による皮膚疾患等
	8	⑰感染症の皮膚疾患の予防 ⑱毛と爪の疾患　⑲皮膚の腫瘍	白髪・脱毛症・多毛症・爪の異常等
	9	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	13	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	14	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	15	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学		指導担当者名	渡辺　拓哉
実務経験	美容師実務経験9年		実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：
時間数	1年次後期30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な香粧品の成分等の知識を習得する。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「香粧品化学」			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	1節　香粧品の社会的意義と品質特性 ①香粧品の社会的意義　②香粧品の品質と必要条件	香粧品の特性について等
	2	2節　香粧品の規制　①香粧品の定義 ②香粧品の製造販売の規制	香粧品の定義、医薬品医療機器等法について等
	3	③香粧品の品質等の規制 ④香粧品の表示・広告の規制	薬機法による規制について等
	4	3節　香粧品の安定性と取り扱い上の注意 ①香粧品の安定性	香粧品の安定性について等
	5	②香粧品の経時変化　③香粧品の使用上、 取り扱い上の注意	香粧品の経時変化、取り扱い上の注意について等
	6	4節　香粧品と安全性　①香粧品と安全性	香粧品の安全性、アレルギーについて等
	7	②表示成分と安全性　③香粧品によるトラブル	全表示成分、香粧品による事故の説明等
	8	1節　香粧品の対象となる人体各部の性状 ①香粧品の種類と機能	香粧品の使用部位と機能性について等
	9	②皮膚と水　③頭皮や毛髪の健康な状態	皮膚の構造、 保湿成分、頭皮・毛髪の健康な状態について等
	10	④爪の性状　⑤まぶたや口唇の性状	爪の構造、目の構造について等
	11	⑥香粧品のなりたち	剤形、基剤について・基剤の種類について
	12	期末テスト対策	テキスト、対策プリント使用　中間テストに向けた復習
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	2節　水性原料　①水	溶液、溶質、溶媒について・水のはたらきについて等
	16	②エタノール	エタノールのはたらき、 エタノールのメタノールについて等
	17	3節　油性原料　①油脂　②ロウ類	脂肪、脂肪油について ・動植物油脂の種類・ロウの種類等
	18	③炭化水素　④その他の油性原料	炭化水素の種類、その他の油性原料の種類等
	19	⑤油性原料の機能	油性原料のはたらき、皮膚への作用等

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学	指導担当者名	渡辺　拓哉
実務経験	美容師実務経験9年	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年
授業方法	講義：〇　演習：	実習：	実技：
時間数（通年）	2年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な香粧品の成分等の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「香粧品化学」		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	4節　界面活性剤　①界面活性剤の基本的性質 ②界面活性剤の種類	親水基と親油基・界面活性剤・ 種類の作用について等
	2	5節　高分子化合物　①高分子化合物の種類と特性 ②高分子化合物の香粧品への応用	高分子化合物の種類と分類・応用について等
	3	6節　色材　①色材と香粧品　②無機顔料	無機顔料の種類と用途について等
	4	③有機合成色素（タール色素） ④光輝性顔料（パール顔料）　⑤天然色素	タール色素を定める省令、 色材の種類や用途について等
	5	7節　香料　①香料と香粧品 ②香料種類　③調合香料	香料による効果・種類や名称、用途について等
	6	8節　その他の配合成分 ①香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分	防腐剤、殺菌剤、酸化防止剤について等
	7	②香粧品配合成分があたえる機能 ③その他の特殊成分	保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤について等
	8	9節　ネイル、まつ毛エクステンション用材料 ①合成樹脂　②接着剤　③塗料	モノマー、ポリマーについて・ 接着剤、塗料について等
	9	1節　皮膚清浄用香粧品　①皮膚の汚れと清浄作用 ②石けんの種類とその性質　③その他の清浄剤	基礎香粧品の分類と名称・皮膚の汚れについて等
	10	2節　化粧水　①化粧水の種類と機能性	化粧水の分類、名称と機能等
	11	3節　クリーム・乳液 ①クリーム・乳液の皮膚への作用	クリーム、乳液の皮膚への作用等
	12	②クリームの種類と機能　③乳液の種類と機能	クリーム・乳液の分類と名称について等
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	4節　その他の基礎香粧品 ①シェービング用香粧品（理容）　②化粧水	シェービング用香粧品・ 化粧液の成分と効果について等
	16	③打粉類　④パック剤	ベビーパウダー・パック剤の種類と効果等
	17	1節　メイクアップ用香粧品の種類と剤形 2節　ベースメイクアップ香粧品	おしろい、ファンデーションの種類と特徴等
	18	3節　ポイントメイクアップ香粧品 ①紅類　②アイメイクアップ香粧品	口紅、頬紅、アイシャドー、 アイライナー、マスカラ、アイブロウについて
	19	③ネイル技術用香粧品類（マニキュア製品）	ネイル用品の種類と名称等
	20	1節　シャンプー剤　①シャンプー剤	シャンプー剤の分類と特徴について等

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学	指導担当者名	渡辺　拓哉
実務経験	美容師実務経験9年	実務経験：	有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年
授業方法	講義：〇　演習：	実習：	実技：
時間数（通年）	2年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な香粧品の成分等の知識を習得する。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「香粧品化学」		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	②ヘアリンス剤　③ヘアトリートメント剤	リンス、トリートメント剤のはたらきと成分について等
	2	2節　スタイリング剤　①スタイリング剤の機能 ②油性スタイリング剤	スタイリング剤の分類、油性スタイリング剤の種類等
	3	③液状スタイリング剤 ④高分子物質を基剤とするスタイリング剤	液状スタイリング剤、 高分子物質を基剤とするスタイリング剤の種類
	4	3節　パーマ剤　①パーマの原理 ②パーマ剤の分類	パーマの仕組み、パーマ剤の分類と特徴について等
	5	③パーマ剤第1剤　④パーマ剤第2剤 ⑤パーマ剤の使用上の注意	パーマ1剤、2剤の成分と特徴について等
	6	4節　ヘアカラー製品 ①ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム	ヘアカラーの染毛の仕組みと分類と特徴について等
	7	②一時染毛料　③半永久染毛料 ④脱色・脱染剤	薬剤についての違い、それぞれの特徴等
	8	⑤永久染毛剤　⑥ヘアカラー製品の使用上の注意 ⑦その他のヘアカラー製品	永久染毛剤の配合成分や特徴、注意点など等
	9	5節　育毛剤　①脱毛の原因 ②育毛剤の種類と機能　③育毛・養毛剤の原料	育毛剤の種類と有効成分・脱毛の種類等
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	1節　芳香製品　①香水 ②オーデコロン　③その他の芳香製品	芳香製品の種類と特徴・賦香率について等
	13	2節　特殊香粧品　①サンケア製品 ②美白用香粧品	サンケア製品の種類と 特徴・美白用香粧品について等
	14	③制汗・防臭剤　④ニキビ用香粧品	体臭の防止方法、ニキビの発生原因などについて等
	15	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計100時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「美容技術理論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	美容技術を学ぶにあたって	美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢
	2	美容用具	美容技術における用具、コーム等
	3	美容用具	ブラシ、シザーズ
	4	美容用具	レザー、ピン類、ヘアクリップ
	5	美容用具	ロッド、ローラー
	6	美容用具	ヘアアイロン、ヘアドライヤー
	7	美容用具	ヘアスチーマー、遠赤外線
	8	シャンプーイング	シャンプーイング総論、サイドシャンプー
	9	シャンプーイング	バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント
	10	シャンプーイング	スキャルプトリートメント、ヘッドスッパ
	11	ヘアデザイン	美容とデザイン
	12	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは、シザーズとレザーの使い方
	13	期末テスト	
	14	ヘアカッティング	美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢
	15	ヘアカッティング	ブロッキング、ヘアカッティングの基礎理論
	16	ヘアカッティング	ベーシックなカット技法
	17	ヘアカッティング	シザーズによるカット技法
	18	ヘアカッティング	レザーによるカット技法
	19	パーマネントウェービング	パーマネントウェーブの歴史と現在
	20	パーマネントウェービング	パーマネントウェーブの理論

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計50時間（2年間合計100時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「美容技術理論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	パーマネントウェービング	パーマ剤の分類、パーマ剤に関する注意事項
	2	パーマネントウェービング	パーマネントウェーブ技術
	3	パーマネントウェービング	ワインディングのバリエーション、縮毛矯正
	4	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは、ヘアパーティング
	5	ヘアセッティング	ヘアシェーピング
	6	ヘアセッティング	ヘアカーリング
	7	ヘアセッティング	ヘアウェービング、ローラーカーリーング
	8	ヘアセッティング	ブロードライ、アイロンセッティング
	9	ヘアセッティング	バックコーミング、アップスタイル
	10	期末テスト	
	11	ヘアセッティング	ウィッグとヘアピース
	12	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類
	13	ヘアカラーリング	ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム
	14	ヘアカラーリング	色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン
	15	ヘアカラーリング	パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項
	16	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの道具
	17	ヘアカラーリング	酸化染毛剤の技術手順
	18	ヘアカラーリング	ヘアブリーチ
	19	ヘアトリートメント剤の構成成分	シャンプー剤の構成成分、ヘアトリートメントの構成成分

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計50時間（2年間合計100時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「美容技術理論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	エステティック概論　皮膚の生理と構造	エステティックの歴史、皮膚の構造等
	2	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論	カウンセリング の目的、基本手技等
	3	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ	フェイシャルケアの効果、デコルテマッサージの基本等
	4	フェイシャルパック　ボディケア技術	フェイシャルパックの種類、ボディケアの種類と特徴
	5	ボディマッサージ　ネイル技術概論	ボディマッサージのポイント、ネイル技術概論
	6	ネイル技術の種類　爪の構造と機能	ネイルケア、爪の構造と名称
	7	爪のカット形状　ネイル技術と公衆衛生	爪のカット構造、消毒法の種類
	8	カウンセリング　ネイルケア	カウンセリング 、ネイルケアの道具
	9	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ	アーティフィシャルネイル技術の道具、ハンドマッサージのポイント等
	10	メイクアップ概論　顔の形態学的な観察	メイクアップ概論、顔のプロポーション等
	11	メイクアップと色彩　皮膚の生理と構造	色の三属性、皮膚の構造等
	12	メイクアップの道具　スキンケア	メイクアップの道具、クレンジング等
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	ベースメイクアップ　アイメイクアップ	ファンデーションの目的、アイラインのテクニック等
	16	アイブロウメイクアップ　リップメイクアップ	眉の整え方、美しい唇のポイント
	17	ブラッシュオンメイクアップ まつ毛エクステンション	ブッシュオンメイクアップ　まつげエクステンションにおける衛星及び保健
	18	日本髪の由来　日本髪の各部の名称	日本髪の由来等
	19	日本髪の種類と特徴　日本髪と調和	日本髪の種類等
	20	日本髪の装飾品　日本髪の結髪道具	花嫁の文金高島田につける装飾品　日本髪の結髪用櫛類等

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計50時間（2年間合計100時間）	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で道具の知識・技術の理論を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター「美容技術理論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	日本髪の結髪技術　日本髪の手入れ	日本髪の手入れ方法
	2	かつら　着付けの目的	かつらのかぶせ方　飾りの付け方等
	3	礼装　着物と季節	女子礼装　男子礼装等
	4	着物のいろいろ　帯	訪問着　付け下げ　等
	5	小物　着物各部の名称	小物の種類等
	6	着物のたたみ方　着付けの一般的要領	本だたみ　夜具だたみ等
	7	留袖着付け技術　振袖着付け技術	着物の選び方　ひもの位置等
	8	帯締め、帯揚げの結び方	帯締めの結び方一例　等
	9	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方	体型補正　着物の着付け等
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	女子袴着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項	体型補正　着物の着付け等
	13	和装花嫁　洋装花嫁	長襦袢の着付け　掛下の着付け等
	14	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	15	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	文化論		指導担当者名	①田口　涼太　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「文化論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	
	2	第1章　総論	理容・美容の語義　理容・美容の現代社会等
	3	第2章　理容業・美容業の発生	髪結床の誕生　女髪結いの誕生等
	4	江戸時代の理容業・美容業	制度に守られた理容業　女か髪結いの動向等
	5	近代の理容業・美容業	髪結いから理髪師へ　女髪結いから美容師へ等
	6	現代の理容業・美容業	理容業の発展　美容業の発展等
	7	日本の理容業・美容業の歴史年表	年表を理解する
	8	第3章　ファッション文化史 日本編 第1節　縄文・弥生・古墳時代	縄文、弥生、古墳の髪型、化粧、服装
	9	第3章　ファッション文化史 日本編 第1節　縄文・弥生・古墳時代	飛鳥、奈良、平安の髪型、化粧、服装
	10	第2節　古代(飛鳥・奈良・平安時代)	平安末、鎌倉、室町、戦国時代の髪型、化粧、服装
	11	第3節　中世	江戸時代の髪型、化粧、服装
	12	第4節　近世Ⅰ	戦国末、安土桃山時代の髪型、化粧、服装
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	第5節　近世Ⅱ	江戸時代の髪型、化粧、服装
	16	第6節　近代Ⅰ	明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装
	17	第7節　現代Ⅰ	1945～1950年代の髪型、化粧、服装
	18	第8節　現代Ⅱ	1960～1970年代の髪型、化粧、服装
	19	第9節　現代Ⅲ	1980～1990年代の髪型、化粧、服装
	20	第10節　現代Ⅳ	2000年代以降の髪型、化粧、服装

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	文化論		指導担当者名	①田口　涼太　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「文化論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	第6節　近代	明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装
	2	第6節　近代	明治、大正、昭和20年までの髪型、化粧、服装
	3	第7節　現代Ⅰ	1945～1950年代の髪型、化粧、服装
	4	第7節　現代Ⅰ	1945～1950年代の髪型、化粧、服装
	5	第8節　現代Ⅱ（1960年～1970年代）	1960～1970年代の髪型、化粧、服装
	6	第8節　現代Ⅱ（1960年～1970年代）	1960～1970年代の髪型、化粧、服装
	7	第9節　現代Ⅲ（1980年～1990年代）	1980～1990年代の髪型、化粧、服装
	8	第9節　現代Ⅲ（1980年～1990年代）	1980～1990年代の髪型、化粧、服装
	9	第10節　現代Ⅳ(2000年代以降)	2000年代以降の髪型、化粧、服装
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	第10節　現代Ⅳ(2000年代以降)	2000年代以降の髪型、化粧、服装
	13	第4章　ファッション文化史 西洋編 第1節　古代エジプト	1960年代の髪型、化粧、服装
	14	第4章　ファッション文化史 西洋編 第1節　古代エジプト	1970年代の髪型、化粧、服装
	15	第2節　古代ギリシャ・ローマ	古代ギリシャ・ローマの髪型、化粧、服装
	16	第2節　古代ギリシャ・ローマ	古代ギリシャ・ローマの髪型、化粧、服装
	17	第3節　古代ゲルマン	古代ゲルマンの髪型、化粧、服装
	18	第3節　古代ゲルマン	古代ゲルマンの髪型、化粧、服装
	19	第4節　中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパの髪型、化粧、服装

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	文化論		指導担当者名	①田口　涼太　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「文化論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	第4節　中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパの髪型、化粧、服装
	2	第5節　近世Ⅰ（16世紀）	16世紀の髪型、化粧、服装
	3	第5節　近世Ⅰ（16世紀）	16世紀の髪型、化粧、服装
	4	第6節　近世Ⅱ　（17世紀）	17世紀の髪型、化粧、服装
	5	第6節　近世Ⅱ　（17世紀）	17世紀の髪型、化粧、服装
	6	第7節　近世Ⅲ(18世紀)	18世紀の髪型、化粧、服装
	7	第7節　近世Ⅲ(18世紀)	18世紀の髪型、化粧、服装
	8	第8節　近代Ⅰ（1910年代～1920年代）	18世紀末～19世紀初めの髪型、化粧、服装
	9	第8節　近代Ⅰ（1910年代～1920年代）	18世紀末～19世紀初めの髪型、化粧、服装
	10	第9節　近代Ⅱ（19世紀）	19世紀の髪型、化粧、服装
	11	第9節　近代Ⅱ（19世紀）	19世紀の髪型、化粧、服装
	12	第10節　現代Ⅰ（1910年代～1920年代）	1910年代～1920年代の髪型、化粧、服装
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	第10節　現代Ⅰ（1910年代～1920年代）	1910年代～1920年代の髪型、化粧、服装
	16	第11節　現代Ⅱ	1930年代～1940年代前半の髪型、化粧、服装
	17	第11節　現代Ⅱ	1930年代～1940年代前半の髪型、化粧、服装
	18	第12節　現代Ⅲ	1960年代の髪型、化粧、服装
	19	第12節　現代Ⅲ	1960年代の髪型、化粧、服装
	20	第13節　現代Ⅳ	1970年代の髪型、化粧、服装

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	文化論		指導担当者名	①田口　涼太　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計30時間（2年間合計60時間）	週時間数	1時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で美容業・理容業の歴史の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「文化論」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	第13節　現代Ⅳ	1970年代の髪型、化粧、服装
	2	第14節　現代Ⅴ	1970年代の髪型、化粧、服装
	3	第14節　現代Ⅴ	1970年代の髪型、化粧、服装
	4	第15節　現代Ⅵ	1980年代の髪型、化粧、服装
	5	第15節　現代Ⅵ	1980年代の髪型、化粧、服装
	6	第16節　現代Ⅶ	1990年代～2010年の髪型、化粧、服装
	7	第16節　現代Ⅶ	1990年代～2010年の髪型、化粧、服装
	8	第5章　礼装の種類　第1節　和装の礼装	花嫁の礼装、女性の礼装等
	9	第5章　礼装の種類　第1節　和装の礼装	花嫁の礼装、女性の礼装等
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	第1節　洋装の礼装	男性の礼装、女性の礼装
	13	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	14	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	15	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	16	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	17	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	18	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験　対策	問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	デッサン		指導担当者名	佐藤　鎮雄
実務経験			実務経験：	無
開講時期	後期	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：〇	演習：	実習：◎	実技：
時間数（通年）	1年次後期25時間（2年間合計50時間）	週時間数	2時間	
学習到達目標	デッサンで髪型、表情を読み取る。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	スケッチブック　鉛筆			
授業外学習の方法	授業外での自主練習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	オリエンテーション	自己紹介・科目の説明
	2	教材配布	鉛筆の使い方
	3	線の書き方	太線、細線の書き方
	4	デッサン　実演	陰影のつけかた
	5	デッサン　実演	陰影のつけかた
	6	デッサン　実演	リンゴを描写
	7	デッサン　実演	リンゴを描写
	8	デッサン　実演	自分の手を描写
	9	デッサン　実演	自分の手を描写
	10	期末テスト	果物の描写
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	デッサン　実演	肖像画
	13	デッサン　実演	肖像画
	14	デッサン　実演	肖像画
	15	デッサン　実演	肖像画
	16	デッサン　実演	動きのある人物画
	17	デッサン　実演	動きのある人物画
	18	デッサン　実演	動きのある人物画
	19	デッサン　実演	まとめ

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	デッサン		指導担当者名	佐藤　鎮雄	
実務経験				実務経験：	無
開講時期	前期		対象学科学年	ヘアメイク学科2年	
授業方法	講義：〇	演習：	実習：◎	実技：	
時間数（通年）	2年次前期25時間（2年間合計50時間）		週時間数	2時間	
学習到達目標	デッサンで髪型、表情を読み取る。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	スケッチブック　鉛筆				
授業外学習の方法	授業外での自主練習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	デッサン　実演	風景画
	2	デッサン　実演	風景画
	3	デッサン　実演	人物の表情を読み取る
	4	デッサン　実演	人物の表情を読み取る
	5	デッサン　実演	人物の表情を読み取る
	6	デッサン　実演	人物の表情を読み取る
	7	デッサン　実演	人物の表情を読み取る
	8	デッサン　実演	表情・髪型を描写
	9	デッサン　実演	表情・髪型を描写
	10	デッサン　実演	表情・髪型を描写
	11	デッサン　実演	動きのある表情・髪型を描写
	12	デッサン　実演	動きのある表情・髪型を描写
	13	デッサン　実演	動きのある表情・髪型を描写
	14	デッサン　実演	コンテストに出展する作品作成
	15	デッサン　実演	コンテストに出展する作品作成
	16	デッサン　実演	コンテストに出展する作品作成
	17	デッサン　実演	コンテストに出展する作品作成
	18	デッサン　実演	コンテストに出展する作品作成
	19	期末テスト	人物画
	20	デッサン　実演	テスト　解説　まとめ

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：	演習：〇	実習：	実技：	
時間数（通年）	1年次前後期合計340時間（2年間合計940時間）	週時間数	12時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　理容師美容師試験研修センター 「美容師実技試験課題　技術の解説」				
授業外学習の方法	授業外での自主練習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	教材の配布、科目の説明
	2	ワインディング	ブロッキングの説明・展示・演習
	3	ワインディング	上巻き・下巻きの説明・展示・演習、センターのワインディング
	4	ワインディング	センター～フロントの説明・展示・演習
	5	ワインディング	フロント～右バックサイド～右サイドの説明・展示・演習
	6	ワインディング	左バックサイド～左サイドの説明・展示・演習
	7	ワインディング	全頭巻き（40分で計測）
	8	ワインディング	全頭巻き（40分で計測）
	9	ワインディング	全頭巻き（40分で計測）
	10	ワインディング	全頭巻き（35分で計測）
	11	ワインディング	全頭巻き（35分で計測）
	12	ワインディング	全頭巻き（35分で計測）
	13	期末テスト	
	14	ワインディング	全頭巻き（30分で計測）
	15	ワインディング	全頭巻き（25分で計測）
	16	ワインディング	全頭巻き（25分で計測）
	17	ワインディング	全頭巻き（25分で計測）
	18	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	19	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	20	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年		実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：	演習：〇	実習：	実技：
時間数（通年）	1年次前後期合計340時間（2年間合計940時間）	週時間数	12時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	公益財団法人　理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題　技術の解説」			
授業外学習の方法	授業外での自主練習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	2	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	3	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	4	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	5	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	6	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	7	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	8	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	9	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	10	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	11	期末テスト	
	12	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	13	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	14	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	15	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	16	ワインディング	全頭巻き（20分で計測）
	17	まつ毛エクステ	目的・教材配布。身だしなみ、セッティング、実習
	18	まつ毛エクステ	かき分け実習＆グルー塗布実習（10本×両目）
	19	まつ毛エクステ	装着実習。リムーブ説明＆実習（15本×両目）

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：	演習：〇	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計600時間（2年間合計940時間）	週時間数	16時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題　技術の解説」				
授業外学習の方法	授業外での自主練習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①課題の説明・準備・セットローション塗布・ウェーブ・ リッジの作り方を説明・展示・演習　②全頭巻き（20分で計測）
	2	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①フルウェーブ展示・演習　②全頭巻き（20分で計測）
	3	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①フルウェーブ演習　②全頭巻き（20分で計測）
	4	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①1段目スカルプチュアカール、7段目クロッキノールカール 説明・展示・演習　②全頭巻き（20分で計測）
	5	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①3段目スカルプチュアカール　説明・展示・演習 ②全頭巻き（20分で計測）
	6	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①4・5段目リフトカール、6段目メイポールカール　説明・展示・演習 ②全頭巻き（20分で計測）
	7	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成　②全頭巻き（20分で計測）
	8	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成（40分で計測）　②全頭巻き（20分で計測）
	9	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成（40分で計測）　②全頭巻き（20分で計測）
	10	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成（40分で計測）　②全頭巻き（20分で計測）
	11	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成（40分で計測）　②全頭巻き（20分で計測）
	12	①オールウェーブセッティング ②ワインディング	①全頭作成（40分で計測）　②全頭巻き（20分で計測）
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	①カッティング　②オールウェーブセッティング	①カットウィッグ配布・トップ～前髪～サイドまで説明・展示・演習 ②全頭（35分で計測）
	16	①カッティング　②オールウェーブセッティング	②ネープ～ヘムライン～第3ブロック説明・展示・演習 ②全頭（35分で計測）
	17	①カッティング　②オールウェーブセッティング	③第2ブロック～第1ブロック～サイド～チェックカット説明・ 展示・演習　②全頭（35分で計測）
	18	①カッティング　②オールウェーブセッティング	④全頭カット　②全頭（35分で計測）
	19	①カッティング　②オールウェーブセッティング	⑤全頭カット　②全頭（35分で計測）
	20	①カッティング　②オールウェーブセッティング	⑤全頭カット　②全頭（35分で計測）

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容実習		指導担当者名	①降矢　直美　②渡辺　拓哉	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：	演習：〇	実習：	実技：	
時間数（通年）	2年次前後期合計600時間（2年間合計940時間）	週時間数	16時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題　技術の解説」				
授業外学習の方法	授業外での自主練習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	①カッティング　②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測　②全頭30分で計測　③全頭20分で計測
	2	①カッティング　②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測　②全頭30分で計測　③全頭20分で計測
	3	①カッティング　②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測　②全頭30分で計測　③全頭20分で計測
	4	①カッティング　②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測　②全頭30分で計測　③全頭20分で計測
	5	①カッティング　②オールウェーブ ③ワインディング	①全頭30分で計測　②全頭30分で計測　③全頭20分で計測
	6	国家試験課題	国家試験に準ずる
	7	国家試験課題	国家試験に準ずる
	8	国家試験課題	国家試験に準ずる
	9	国家試験課題	国家試験に準ずる
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	国家試験課題	国家試験に準ずる
	13	国家試験課題	国家試験に準ずる
	14	国家試験課題	国家試験に準ずる
	15	国家試験課題	国家試験に準ずる
	16	国家試験課題	国家試験に準ずる

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	実践行動学Ⅰ（就職実務含む）	指導担当者名	佐々木　美代子
実務経験		実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：　実技：		
時間数（通年）	70時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	講師紹介　1-1　これからどう生きるのか(宿題として視聴)
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り　1-2　一生でどのくらい稼げるのか
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編)　身だしなみ
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い
	5	職業を知る	圧迫面接
	6	情報収集、企業研究、資料請求　1	2-2(実践編)　業界マップの理解
	7	情報収集、企業研究、資料請求　2	2-3　業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求　3	2-3(実践編)　業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る　自分史作成　1	1 3-4から3-6-2　・3-4自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る　自分史作成　2	3-4から3-6-2　・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る　自分史作成　3	3-4から3-6-2　・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分自身を知る　自分史作成　4	3-4から3-6-2　・3-5自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る　自分史作成　5	3-4から3-6-2　・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方　1	3-7　業界、会社にあった動機作り
	15	志望動機の作り方　2	3-7(実践編)　業界、会社にあった動機作り
	16	自己PRの作り方　1	3-7　業界、会社に合った自己PR 作り
	17	自己PRの作り方　2	3-7　業界、会社に合った自己PR 作り
	18	自己PRの作り方　3	3-7　業界、会社に合った自己PR 作り
	19	期末テスト	
	20	履歴書作成	まとめ

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	実践行動学Ⅰ（就職実務含む）	指導担当者名	佐々木　美代子
実務経験		実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：		実技：
時間数（通年）	70時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	志望動機の作り方　1	3-7　業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方　2	3-7(実践編)　業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類　1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1,3-3(実践編)、3-6,3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局の書類の手続き）、ポートフォリオ *履歴書の完成
	4	作成書類　2	
	5	作成書類　3	
	6	企業訪問	5-1,5-2　準備、当日、事後の指導
	7	就職試験のマナー　1	5-2,5-3(実践編)　入退室
	8	就職試験のマナー　2	5-2,5-3(実践編)　面接試験対策1
	9	就職試験のマナー　3	5-2,5-3(実践編)　面接試験対策2
	10	筆記試験対策　1	5-5,5-5(実践編)　筆記試験について、種類や方法を知る
	11	筆記試験対策　2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	12	筆記試験対策　3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	メイク		指導担当者名	①佐々木美代子 ②近内睦美
実務経験	①美容師実務経験18年 ②エステシャン実務経験 5年 美容部員 8年		実務経験：	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：〇	演習：◎	実習：	実技：
時間数（通年）	185時間	週時間数	6時間	
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。 座学、実技試験(30分）。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	LedomメイクBOX			
授業外学習の方法	予習、復習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	「メイクアップの前に」	・メイクキットの検品 ・メイクアップの道具、手入れ ・基本のセッティング例デモスト 説明
	2	「メイクアップの前に」	・モデルのセッティング例デモスト 説明 ・技術者の身だしなみ、スタンス、道具の持ち方デモスト
	3	「メイクアップの前に」	・メイクアップの仕事～3級試験概要説明（授業目標値）
	4	「スキンケア①」	・スキンケアの順序 ,スキンケア化粧品の目的,特徴 ・皮膚 ・表情筋 ・顔の名称
	5	「スキンケア②」	・化粧水・美容液・乳液テクニック復習（手順を覚える）（セッティング後 実習50分）
	6	「スキンケア③」	・スキンタイプと肌の状態 ・化粧水・美容液・乳液テクニック トータルチェック
	7	「スキンケア④」	・ポイントクレンジング ・クレンジング実践（ティッシュ、綿棒の使いこなし。的確な添え手のポイント）
	8	「スキンケア⑤」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践 トータルチェック（実習50分）
	9	「スキンケア⑥」	・スキンケアテクニック トータルレッスン（実習 50 分）
	10	「ベースメイク①」	・ベースメイク化粧品の目的、特徴 ・ベースメイクの順序（座学20分）
	11	「ベースメイク②」	・骨格 ・肌色（座学20分）・ファンデーション～パウダー 実践 ハンドテクニック、スポンジ・パフテクニック
	12	「ベースメイク③」	・ファンデーション～パウダー復習（セッティング後 実習50分）
	13	「ベースメイク④」	・ベースメイクの質感 ・肌トラブルとメイクアップ（座学15分）・コントロールカラー～ファンデーション
	14	「ベースメイク⑤」	・ファンデーション～コンシーラー～パウダー 実践（セッティング後 実習50分）
	15	「ベースメイク⑥」	・ベースメイク トータルレッスン（実習50分）
	16	「トータルレッスン①」	・化粧水・美容液～ベースメイク トータルレッスン（実習50分）
	17	「トータルレッスン②」	・ポイントクレンジング～ベースメイク トータルレッスン（実習50分）
	18	「顔分析①」	・顔分析理論 ・修整理論 ・ハイライト、ローライト、チークの効果（座学50分）
	19	「顔分析②」	・ファンデーション～パウダー ・ハイライト、ローライト、チーク（実習50分）
	20	3級実技試験内容	・3級 試験 テーブルセッティング 注意事項説明 事前審査 実技試験 30分 審査

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	メイク		指導担当者名	①佐々木美代子　②近内睦美
実務経験	①美容師実務経験18年　②エステシャン実務経験 5年　美容部員 8年		実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：○	演習：◎	実習：	実技：
時間数（通年）	185時間	週時間数	6時間	
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。 座学、実技試験(30分）。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	LedomメイクBOX			
授業外学習の方法	予習、復習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識 ・アイテム ・基本の描き方　・アイブロウテクニック
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識 ・アイテム ・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラー ブラシテクニック
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識 ・アイテム ・基本のアイラインの入れ方 ・基本のアイラインテクニック（ペンシル）
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック（リキッド）
	6	「ビューラー&マスカラ」	・ビューラー、マスカラの基礎知識 ・アイテム ・基本の使い方 ・基本のビューラー、マスカラテクニック
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ、アイメイク トータルレッスン
	8	「リップ」	・リップの基礎知識 ・アイテム ・基本のリップの描き方・リップテクニック
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイク・チーク・リップ
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン
	12	「ベースメイク」「顔の分析・ﾌﾙﾒｲｸ①」	・ベースメイクテクニック（ブラシテクニック）・基本のプロポーションに近づけるフルメイク
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚 ・直線と曲線 半顔メイク実践・色の錯覚 ・色彩とメイクアップ
	14	「模擬試験レッスン①」	模擬試験①
	15	「模擬試験レッスン②」	模擬試験②
	16	「模擬試験レッスン③」	模擬試験③
	17	2級実技試験	試験時間50 分

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	クリエイティブメイク		指導担当者名	鈴木　智也
実務経験	美容師実務経験22年		実務経験：	有
開講時期	後期	対象学科学年	ヘアメイク学科1年	
授業方法	講義：〇	演習：◎	実習：	実技：
時間数（通年）	1年次後期45時間（2年間合計90時間）	週時間数	3時間	
学習到達目標	クリエイティブメイクの基本的な知識を学び、作品作りを目指す。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	Ipad			
授業外学習の方法	予習、復習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	オリエンテーション	科目説明、誰に対して、何にむけての作品なのか、展示しながら説明
	2	クリエイション、ヘアメイクについて	メンバーでどのような取り組み、どのような準備が必要なのかを説明
	3	デッサン、単化トレーニング	デザインの急所を捉え、見せ場を分かりやすく説明(同内容をホームワーク)
	4	ヘアデザインの歴史	ヘアデザインの歴史、フォルム、バランスの考え方の説明
	5	ヘアデザインの歴史	各自リサーチ、ノート作成(前回のホームワークのチェック)
	6	ヘアデザインの歴史	ウィッグ作成（まとめ資料作成、ホームワーク）
	7	ファッションの歴史	世代別ファッションの理解を深める
	8	ファッションの歴史	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークのチェック)
	9	ファッションの歴史	ファッションを引き立てるヘアデザインの作成(まとめ資料作成、ホームワーク)
	10	メイクの歴史	骨格の理解と年代別メイク
	11	メイクの歴史	クリエイションにおけるメイクの役割
	12	メイクの歴史	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークのチェック)
	13	ヘアデザイン、ファッション、メイクのマッチング	全体のバランスの取り方、足し引き、トリミング
	14	ヘアデザイン、ファッション、メイクのマッチング	ジャンル別での理解を深める
	15	ヘアデザイン、ファッション、メイクのマッチング	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークのチェック)
	16	オリジナリティーの追求	オリジナリティーとは
	17	オリジナリティーの追求	オリジナリティーの深堀
	18	オリジナリティーの追求	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークのチェック)
	19	コラージュ	イメージボード、ムードボードの重要性
	20	コラージュ	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークのチェック)

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	クリエイティブメイク		指導担当者名	鈴木　智也
実務経験	美容師実務経験22年		実務経験：	有
開講時期	前期	対象学科学年	ヘアメイク学科2年	
授業方法	講義：○	演習：◎	実習：	実技：
時間数（通年）	2年次前期45時間（2年間合計90時間）	週時間数	3時間	
学習到達目標	1年次の基礎を活かし、フォトコンペに参加　カメラワークの使用方法、アプリ使用で修正方法を身に付ける。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	Ipad　Lightroom			
授業外学習の方法	予習、復習。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	コラージュ	コラージュ作成(まとめ資料作成ホームワーク)
	2	世界観	様々な世界観を感じ深堀りする
	3	世界観	カメラワークとレタッチ
	4	世界観	各自リサーチとノート作成(前回のホームワークチェック、まとめ資料作成)
	5	撮影A	仕込み、撮影、片付け、見学
	6	撮影A	仕込み、撮影、片付け、見学
	7	撮影A	仕込み、撮影、片付け、見学
	8	撮影B	仕込み、撮影、片付け、見学
	9	撮影B	仕込み、撮影、片付け、見学
	10	撮影B	仕込み、撮影、片付け、見学
	11	撮影C	仕込み、撮影、片付け、見学
	12	撮影C	仕込み、撮影、片付け、見学
	13	撮影C	仕込み、撮影、片付け、見学
	14	プレゼンテーション	制作作品プレゼンテーション
	15	プレゼンテーション	制作作品プレゼンテーション
	16	プレゼンテーション	制作作品プレゼンテーション
	17		
	18		
	19		
	20		

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	ブライダルヘアメイク		指導担当者名	①佐々木　美代子　②柳橋　南	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験12年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：〇	演習：◎	実習：	実技：	
時間数（通年）	85時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	ブライダル現場で必要なメイク、ヘアセットを学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	LedomメイクBOX				
授業外学習の方法	予習、復習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	メイク教材ﾁｪｯｸ	材料の理解・使い方・検定について
	2	マッサージメイク、ヘアセットのデモ	筆記用具
	3	骨格に合わせたに合わせメイク	メイク道具一式、タオル、鏡
	4	相モデルでの映えメイク （骨格、肌質を見極める）	メイク道具一式、タオル、鏡
	5	相モデルでの映えメイク （骨格、肌質を見極める）	メイク道具一式、タオル、鏡
	6	洋装・和装のメイク	メイク道具一式、タオル、鏡
	7	洋装・和装のメイク	メイク道具一式、タオル、鏡
	8	あみこみ、ツイスト、 ウェーブを用いた基礎	ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	9	あみこみ、ツイスト、 ウェーブを用いた基礎	ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	10	シンプルなシニヨン作成	ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	11	カール　ロールアイロン	アイロン、ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	12	ストレートアイロン　波ウェーブ作成	アイロン、ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	13	ホットカーラー使用方法	ホットカーラー、ヘアセット道具一式、タオル、鏡
	14	ウェーブの作り方	ホットカーラー、コテ、アイロン、スタイリング剤、ヘアセット道具一式
	15	ウェーブの作り方	ホットカーラー、コテ、アイロン、スタイリング剤、ヘアセット道具一式
	16	サイド＆フロントのデザイン基礎	ホットカーラー、コテ、アイロン、スタイリング剤、ヘアセット道具一式
	17	ボリューム(すき毛使用方法)	コテ、アイロン、スタイリング剤、ヘアセット道具一式
	18	技術チェック	コテ、アイロン、スタイリング剤、ヘアセット道具一式

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	ブライダルヘアメイク		指導担当者名	①佐々木　美代子　②柳橋　南	
実務経験	①美容師実務経験18年　②美容師実務経験12年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科1年		
授業方法	講義：○	演習：◎	実習：	実技：	
時間数（通年）	85時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	ブライダル現場で必要なメイク、ヘアセットを学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	LedomメイクBOX				
授業外学習の方法	予習、復習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	新日本髪、土台作成、飾りのつけ方	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	2	新日本髪、飾りのつけ方	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	3	新日本髪、飾りのつけ方　技術チェック	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	4	モヒカン、お団子などのアップスタイル	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	5	モヒカン、お団子などのアップスタイル	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	6	ネープロール	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	7	ダブルツイストネープフィックス	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	8	ダブルツイストサイドリボン	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	9	三つ編みサイドカール	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	10	ロープ編み込みネープサイドフィックス	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	11	フィッシュボーン編み込みバックサイドフィックス	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	12	シフトカールダウンスタイル	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	13	夜会巻き①	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	14	夜会巻き①	ヘアセット道具一式、タオル、鏡、ウィッグ、クランプ
	15	カウンセリング→ヘア・メイク	ヘアセット道具一式、メイク道具一式
	16	和装に似合うヘアセット・メイク	ヘアセット道具一式、メイク道具一式
	17	洋装に似合うヘアセット・メイク	ヘアセット道具一式、メイク道具一式
	18	実際にドレスを着用、ヘアセット・メイク	ヘアセット道具一式、メイク道具一式
	19	実際にドレスを着用、ヘアセット・メイク	ヘアセット道具一式、メイク道具一式
	20	技術チェック	ヘアセット道具一式、メイク道具一式

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	関係法規・制度		指導担当者名	江川　空
実務経験			実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年	
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：
時間数（通年）	30時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な法律、制度の知識を習得する。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「関係法規・制度」			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	第1節　社会生活における法の役割 ①人と社会生活　②法とは何か	社会生活における法の役割について
	2	第2節　①憲法と日本の法令体系　②条約	憲法・法律・命令・条例・規則について
	3	③法律　④命令　⑤自治法規	法律・命令・自治法規の詳細について等
	4	第3節　衛生法規の概要　①衛生法規の意義	衛生法規の意義について
	5	②衛生法規の分類と生活衛生法規	衛生法規の分類と生活衛生法規について
	6	第4節　理容師法・美容師法と付属法令	付属法令の詳細
	7	第1節　衛生行政の意義と歴史　①行政とは何か	行政の分類
	8	②衛生行政の意義	衛生行政の目的について
	9	③我が国における衛生行政の歴史	衛生行政の起源・歩み・発展について
	10	第2節　衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 ①衛生行政の分類	衛生行政の分類と、生活衛生行政について
	11	②生活衛生行政	生活衛生行政の内容、詳細
	12	期末テスト対策	対策プリント準備
	13	期末テスト	
	14	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	15	第3節　衛生行政を担う行政機関 ①一般行政の仕組み	一般衛生行政の系統
	16	②厚生労働省の役割	厚生労働省の役割
	17	③都道府県及び市町村の役割	都道府県及び市町村の役割
	18	④保健所の役割と機構	保健所の役割と意義
	19	前半部分の振り返り	まとめプリント準備
	20	第1節　理容師法・美容師法の目的	美容師法の目的

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	関係法規・制度		指導担当者名	江川　空
実務経験			実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年	
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：
時間数（通年）	30時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な法律、制度の知識を習得する。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「関係法規・制度」			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。			

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	第2節　用語の定義　①理容・美容 ②理容師・美容師　③理容所・美容所	理容・美容の定義の違い
	2	第3節　人に関する規定 ①概説　②養成施設の入所資格	美容師免許について・試験合格から登録まで
	3	③養成施設　④試験	養成施設・試験の概要
	4	⑤免許と登録　⑥理容師・美容師の義務	免許の意義・美容師の義務について
	5	⑦業務停止、免許取消及び再免許	業務停止処分・取消処分について
	6	第4節　施設に関する規定　①概説 ②理容所・美容所の開設	美容所開設においての法律
	7	③開設者が講ずべき衛生措置 ④理容所・美容所以外での業務	開設者が講ずべき衛生措置の詳細について等
	8	第5節　立入検査と環境衛生監視員	立入検査、環境衛生監視員について
	9	期末テスト対策	対策プリント準備
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	第6節　違反者等に対する行政処分 ①違反者に対する行政処分	違反者に対する罰則の詳細
	13	②不利益処分を行う場合の手続き ③違法または不当な処分等についての審査請求	不利益処分を行う手続き、審査請求について
	14	第7節　罰則　①罰則について ②理容師法・美容師法の罰則	罰則についての詳細
	15	理容業・美容業の運営に関連する法律	理容業・美容業の運営に関連する法律まとめ
	16	理容業・美容業の衛生に関連する法律	理容業・美容業の衛生に関連する法律まとめ
	17	理容業・美容業の消費者保護に関連する法律	理容業・美容業の消費者保護に関連する法律まとめ
	18	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	19	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説
	20	国家試験　対策	過去問題プリント　過去問題の解答・解説

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	運営管理	指導担当者名	①降矢　直美　②柳橋　南
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験12年	実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年
授業方法	講義：〇　演習：	実習：	実技：
時間数	25時間	週時間数	2時間
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要なサービスの心得・経営者の責任を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター「運営管理」		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	第1章　経営とは・経営者とは 第1節　経営が必要とされる理由	①経営とは何か ②経営最大のテーマ：継続企業の原則
	2	第2節　継続が難しい理由 ＝経営が必要な理由	①変化　②競争　③経営の必要性
	3	第3節　経営とは何か 第4節　経営資源と経営計画	①経営の目的　②経営の成果 ③経営資源　④経営計画
	4	第5節　経営戦略 第6節　経営戦略が目指すもの	①経営戦略とは　②経営戦略の視点 ③経営者の視点　④よい店をどう実現するか　⑤クオリティの実現
	5	第2章　理容業・美容業の経営について 第1節　業界の概要	①理容・美容業界の現状　②今日の理容店・美容店
	6	第2節　競争の変化 第3節　サービスとしての理容・美容	①競争　②競争の方向性の変化　③サービスは経験の提供 ④顧客が決めるサービス　⑤サービスを実現するもの
	7	第4節　理容業・美容業の顧客について	①顧客が来るのは当たり前ではない ②理容・美容の顧客の特徴
	8	第3章　資金の管理 第1節　資金管理の重要性	①資金管理とは　②会計の活用
	9	第2節　収支と損益　第3節　会計の考え方	①収支と損益とは　②収支と損益が異なる例 ③会計について等
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	第4節　コストを管理する　第5節　税金について	①利益・コストの仕組み ②税金の種類とその内容　③税金を支払わないときの罰則
	13	第1章　人という資源　第1節　人という資源とは	①人という資源の特徴と課題 ②労務管理の目指すもの
	14	第2節　人の能力を高める 第3節　人をやる気にさせるために	①採用について　②美容業のトレーニング ③やる気とは　④やる気を高める
	15	第4節　給与　第5節　待遇・福利厚生	①評価・待遇　②福利厚生　③休暇
	16	第6節　労働者の権利	①働く者の権利　②適正な労使関係の構築
	17	第2章　健康・安全な職場環境の実現 第1節　健康管理の基礎	①健康管理とその管理　②健康診断
	18	第2節　理容・美容の仕事と健康 第3節　理容業・美容業に特徴的な健康課題	①健康課題　②経営者としての責任 ③仕事と疲労　④美容師に多い健康問題
	19	第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題	①採光・証明　②換気　③温度・湿度

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	運営管理		指導担当者名	①降矢　直美　②柳橋　南	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験12年			実務経験：	①有　②有
開講時期	通年	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：〇	演習：	実習：	実技：	
時間数	25時間	週時間数	2時間		
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要なサービスの心得・経営者の責任を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター「運営管理」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	第3章　従業員としての視点から　第1節 社会人としての責任・美容業の従業員としての責任	①社会人としての責任 ②美容という仕事ゆえの責任
	2	第2節　社会保険①～公的年金～	①国民年金　②厚生年金保険
	3	第3節　社会保険②～医療保険～	①健康保険 ②国民健康保険　③介護保険
	4	第4節　社会保険③～労働保険～	①雇用保険　②労働者災害補償保険
	5	第5節　キャリアプランの重要性	①進むべき道を考える ②準備　③自己管理・将来設計
	6	第6節　仕事をするうえで考えるべきこと	①サービス提供としての役割 ②仲間と働くうえでの役割
	7	第1章　サービス・デザイン 第1節　顧客が求める価値	①サービス・デザインとは　②要点
	8	第2節　価値の実態　第3節 顧客満足の実現のためのシステム	①価値の構築 ②競争の現実　③顧客満足とシステム
	9	第4節　最も重要な価値・人　第5節 価値の多様性　第6節　サービスの範囲	①人の役割 ②顧客が求めている価値　③サービスの範囲とは
	10	期末テスト	
	11	期末テスト　回答・解説	期末テストの問題の解答・解説
	12	第2章　マーケティング　第1節 美容業のマーケティング　第2節　マーケティング・ミックス	①マーケティングの特徴・要点 ②マーケティング・ミックスの要因
	13	第3節　マーケティング・ミックスの 短期的要因①　第4節　要因②	①短期的要因と長期的要因 ②価値　③顧客とのコミュニケーション等
	14	第5節　マーケティング・ミックスの長期的要因① 第6節　要因②　第7節　サービスのシステム化	①インターフェイス　②人 ③物的要因　④プロセス
	15	第3章　サービスにおける人の役割 第1節　接客についての理解　第2節よい接客のために	①接客の誤解をとく　②よい接客とは ③計画と準備　④努力や工夫
	16	第3節　接客の実践①　第4節　接客の実践②	①接客の本質 ②受付の役割と意味　③顧客の要望を聞く
	17	第5節　接客の実践③　第6節　接客の実践④	①提案　②質問 ③説明　④調整
	18	第7節　接客の実践⑤ 第8節接客におけるトラブルと対応	①謝罪　②フォローアップ ③トラブル・事故　④万一のときのために
	19	第9節　接客で発生が予想される問題	①顧客の質の変化　②事故 ③対策　④対処
	20	第10節　問題を深刻化させないために	①顧客の質の変化　②事故　③対策　④対処

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	美容総合技術		指導担当者名	①降矢　直美　②田口　涼太	
実務経験	①美容師実務経験8年　②美容師実務経験9年			実務経験：	①有　②有
開講時期	後期		対象学科学年	ヘアメイク学科2年	
授業方法	講義：	演習：〇	実習：	実技：	
時間数	30時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	国家試験の科目でもあるので、国家試験合格を目指し学習する。 美容師になる上で必要な技術・衛生面の知識を習得する。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　理容師美容師試験研修センター「美容師実技試験課題　技術の解説」				
授業外学習の方法	授業外での自主練習をする。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	国家試験　第1課題　第2課題	国家試験に準ずる
	2	国家試験　第1課題　第3課題	国家試験に準ずる
	3	国家試験　第1課題　第2課題	国家試験に準ずる
	4	国家試験　第1課題　第2課題	国家試験に準ずる
	5	国家試験　第1課題　第2課題	国家試験に準ずる
	6	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	7	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	8	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	9	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	10	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	11	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	12	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	13	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	14	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	15	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）
	16	国家試験　模擬試験	国家試験に準ずる（技術・衛生面どちらも採点）

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	実践行動学Ⅱ（就職実務含む）	指導担当者名	佐々木　美代子
実務経験		実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	美容学科2年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：		実技：
時間数（通年）	70時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	オリエンテーション	就職活動について
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編)　身だしなみ
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー
	6	情報収集、企業研究、資料請求　1	2-2(実践編)　業界マップの理解
	7	情報収集、企業研究、資料請求　2	2-3　業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求　3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分自身を知る　自分史作成　1	自己PRのネタを探す
	10	自分自身を知る　自分史作成　2	自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分自身を知る　自分史作成　3	自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分自身を知る　自分史作成　4	自己PRの骨格を作る
	13	自分自身を知る　自分史作成　5	自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方　1	業界、会社にあった動機作り
	15	志望動機の作り方　2	業界、会社にあった動機作り
	16	自己PRの作り方　1	業界、会社に合った自己PR 作り
	17	自己PRの作り方　2	業界、会社に合った自己PR 作り
	18	自己PRの作り方　3	業界、会社に合った自己PR 作り
	19	期末テスト	
	20	履歴書作成	まとめ

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	実践行動学Ⅱ（就職実務含む）	指導担当者名	佐々木　美代子
実務経験		実務経験：	無
開講時期	通年	対象学科学年	美容学科2年
授業方法	講義：〇　演習：　実習：		実技：
時間数（通年）	70時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等。		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　後期	1	志望動機の作り方　1	実践）業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方　2	実践）業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類　1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局の書類の手続き）、ポートフォリオ*履歴書の完成
	4	作成書類　2	
	5	作成書類　3	
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導
	7	就職試験のマナー　1	入退室
	8	就職試験のマナー　2	面接試験対策　1
	9	就職試験のマナー　3	面接試験対策　2
	10	筆記試験対策　1	筆記試験について、種類や方法を知る
	11	筆記試験対策　2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	12	筆記試験対策　3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	13	企業研究　1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査（実践）
	14	企業研究　2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査（実践）
	15	企業研究　3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査（実践）
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須
	18	ポートフォリオについて	作品について
	19	まとめ	就職活動のまとめ
	20	レポート	レポート提出

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラー	指導担当者名	①渡辺　拓哉　②田口　涼太
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験9年	実務経験：	①有　②有
開講時期	前期	対象学科学年	ヘアメイク学科2年
授業方法	講義：○　演習：◎	実習：	実技：
時間数（通年）	50時間	週時間数	6時間
学習到達目標	サロンワークで実際に使う技術を学ぶ。 「ロレアルカラーベーシックコース」取得を目指す。		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。□		
使用教材	日本ロレアル株式会社　カラーテキスト		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業外での自主練習。		

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	ロレアル　ベーシックカラーコース	教材配布、ウィッグカット。練習用クリームを使い毛先塗布　展示・演習
	2	ロレアル　ベーシックカラーコース	毛先塗布演習・根元塗布展示・演習
	3	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布
	4	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布
	5	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布（30分で計測）
	6	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布（25分で計測）
	7	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布（25分で計測）
	8	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布（20分で計測）
	9	ロレアル　ベーシックカラーコース	全頭塗布（20分で計測）
	10	ロレアル　ベーシックカラーコース	実技試験
	11	ロレアル　ベーシックカラーコース	筆記対策（カラー知識・レベル・アンダートーン・色の3属性・トーン）
	12	ロレアル　ベーシックカラーコース	筆記対策（カラー知識・レベル・アンダートーン・色の3属性・トーン）
	13	ロレアル　ベーシックカラーコース	筆記対策（メラニン色素・染毛の仕組み、 テクニック・乳化・ホイルワーク・カブレ）
	14	ロレアル　ベーシックカラーコース	筆記対策（メラニン色素・染毛の仕組み、 テクニック・乳化・ホイルワーク・カブレ）
	15	期末テスト	筆記試験

履修上の留意点

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。

授業計画（シラバス）

科目名	まつ毛エクステンション		指導担当者名	①渡辺　拓哉　②管野　元美	
実務経験	①美容師実務経験9年　②美容師実務経験1年			実務経験：	①有　②有
開講時期	前期	対象学科学年	ヘアメイク学科2年		
授業方法	講義：○	演習：◎	実習：	実技：	
時間数（通年）	45時間	週時間数	3時間		
学習到達目標	アイリストとして実際に使う技術知識を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、提出物、期末テスト等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	公益財団法人　日本理容美容教育センター 「Eyelash　extensions」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと、授業外での自主練習。				

学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画　前期	1	まつエク（衛生・身だしなみ・セッティング）	コースの内容、目的、日程説明・教材配布。身だしなみ、セッティング、実習
	2	まつエク（テーピング＆ツィーザーワーク	テーピング説明＆実習。かき分け実習
	3	まつエク（ツィーザーワーク＆装着）	かき分け実習＆グルー塗布実習（10本×両目）
	4	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習。リムーブ説明＆実習（15本×両目）
	5	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（20本×両目）
	6	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（25本×両目）
	7	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（25本×両目）
	8	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（30本×両目）
	9	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（30本×両目）
	10	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（35本×両目）
	11	まつエク（装着＆リムーブ）	装着実習＆リムーブ実習（35本×両目）
	12	まつエク実技試験	技術者認定実技試験（衛生・身だしなみ・装着）
	13	1章　まつ毛エクステンション概要 2章　まつ毛エクステンションの用具	テキストP3～P24
	14	3章　衛生管理	テキストP31～P36
	15	4章　保健	テキストP39～P55
	16	5章　カウンセリング	テキストP59～P69
	17	6章　まつ毛エクステンション技術	テキストP75～P80
	18	試験対策（復習）	テキストの振り返り
	19	試験対策（復習）	テキストの振り返り
	20	筆記試験	技術者認定筆記試験

履修上の留意点

実技試験・筆記試験合格で修了認定